

国語

の
力

確認テスト



6年

国語の 力確認 テスト

テスト

1 物語①

人物像をとらえる

別冊「解答」P.2でチェックしよう。

1 漢字

▼線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ①とんだ災難さいなんだった。
 - ②劇場へ足を運ぶ。
 - ③たいへん便利で重宝じゆうぼうする。
- ▼()内の漢字は、アとイのどちらが正しいか、記号で答えなさい。

5

3 言葉のきまり

▼()にあてはまる言葉をあとから選んで、記号で答えなさい。

- ①昔は、この村も小さく()た。
 - ②もしよ()ば、家に来てください。
 - ③君は、心の温か()人だ。
- 「アイ イけれ ウかつ」

5

▼文中から形容詞を見つけて、記号で答えなさい。

- ④ア川のイ水は、とてもウ冷たい。エ
- ⑤ア声イが大きくウひびいた。

2 語句

▼「うわの空」の使い方として正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- ア 今日はうわの空がよくない。
- イ うわの空へ行く。
- ウ 説明をうわの空で聞く。
- エ うわの空が青く見える。

5

4 読解

▼文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

去年の夏休み。母の郷里に遊びに行ったとき、いとこの千代ちよが言っていた。

①「急に胸が苦しくなってきた。とたん、胸の中で、赤い実がはじけたの。」

あの夏の夜、千代とふとんにもぐりこんで、いろいろな話をした。そのとき千代は、はずかしそうに、一夫君かずおのことを言いだしたのだ。同じクラスの一夫君の横顔に夕日が当たったしゅん間、千代の胸の中で、

③がはじけたというのだ。

「赤い実がはじけた」 名木田恵子

①線①は、だれの言葉ですか。

()の言葉

②線②に「同じクラス」とあるが、だれと同じクラスなのか。次から選んで、記号で答えなさい。

ア 母 イ 千代 ウ 一夫君 エ 千代のいとこ

③③にあてはまる言葉を、文中からぬき出して答えなさい。

3

▼「あつけにとられる」の意味として正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- ア 空きすに入られる。 イ 勝手なことをされる。 ウ 人の話を聞いていない。 エ おどろき、あきれる。
- ▼()内の言葉の使い方は、アとイのどちらが正しいか、記号で答えなさい。

- ①とつ然のできごとごとに、(ア あつけにとられて) 一案のじょうしてじょうしてしまった。
- ②形は同じだが、値段は(ア 雲での差) いうわの空だ。
- ③かれは(ア 右往左往) いうわの空だ。

国語の 力確認 テスト

シート

1 物語①

1-1

漢字シート

1 漢字

(1) 次の漢字の部首名をあとから選んで、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ① 劇 | () | ② 宝 | () |
| ③ 域 | () | ④ 郷 | () |
| ⑤ 難 | () | | |

ア うかんむり イ ふるとり
ウ つちへん エ りっとう
オ おおざと

(5) () にあてはまる漢字をそれぞれあとから選んで、正しい熟語を作りなさい。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|---|
| ① 貧 | () | ② | () | 給 |
| ③ 車 | () | ④ 領 | () | |
| ⑤ | () | 石 | | |

〔宝 困 窓 域 供〕

(2) 次の漢字の総画数は何画ですか。

- | | | | | | |
|-----|-----|---|-----|-----|---|
| ① 困 | () | 画 | ② 処 | () | 画 |
| ③ 域 | () | 画 | ④ 郷 | () | 画 |

〔劇 諸 処 俳 難〕

※総画数をまちがった漢字は、教科書の巻末を見て、必ず筆順練習をしておきましょう。

(3) 次の漢字の音読みと訓読みを書きなさい。

- | | | | | | |
|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
| ① 難 | 訓 () | 音 () | ② 窓 | 訓 () | 音 () |
| ③ 筋 | 訓 () | 音 () | ④ 供 | 訓 () | 音 () |
| ⑤ 困 | 訓 () | 音 () | ⑥ 宝 | 訓 () | 音 () |

(6) 線の漢字が正しければ○を、まちがってれば正しい漢字を書きなさい。

- | | |
|--------------|-----|
| ① 葉を諸方してもらう。 | () |
| ② 父は消防諸長だ。 | () |
| ③ 難問を解く。 | () |
| ④ 演劇を見に行く。 | () |
| ⑤ 本を三刷買った。 | () |

(7) 次の文中にはまちがった漢字が一字ずつ入っています。それを見つけて正しい漢字に直しなさい。

- | | | | |
|----------------------|-----|---|-----|
| ① 興土料理を楽しむ。 | () | ↓ | () |
| ② おじいさんの番年をよく知る人に会う。 | () | ↓ | () |
| ③ 均肉をつけるために運動する。 | () | ↓ | () |

(4) 線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- | | |
|---------------|-----|
| ① ぼくは毎晩本を読む。 | () |
| ② わたしの父は俳人です。 | () |
| ③ 署名を集める。 | () |
| ④ 地域の代表になる。 | () |
| ⑤ 数冊の本を買う。 | () |

国語の 力確認 テスト

1

物語① 1-2 語句シート

2 語句

(1) 次の言葉はどんなときに使いますか。あとから選んで、記号で答えなさい。

- ① あいづちを打つ () ()
- ② あげ足をとる () ()
- ③ うわの空 () ()
- ④ 一糸みだれず () ()
- ⑤ うだつがあらがない () ()
- ⑥ あっけにとられる () ()

ア 約束の時刻におくられて来たのに、何の弁明もせず、平気でいる人を見たとき。

イ がんばっているのに、思うように出世しない人

ウ ちよつとしたミスを見つけて、言い立てるとき。

エ 体育の時間に、全員が見事に整列したとき。

オ 友達と話していて、うなずいているとき。

カ 夕食のことを考えながら、先生の話を聞いているとき。

(2) 次の言葉の意味として正しいものをそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- ① あまのじゃく () ()

ア 美しい夜空 イ 整っている様子
ウ ひねくれている様子

- ② 右往左往 () ()

ア 行きと帰り イ うろろうろすること
ウ もどつてくること

- ③ 雲での差 () ()

ア たいへんなちがい イ 死後のこと
ウ もやもやしている

(3) () () 内の言葉の使い方は、アとイのどちらが正しいか、記号で答えなさい。

- ① (ア 案のじょう イ ありのまま) うまくいった。 () ()
- ② あまりのことに (ア うだつがあらがない イ あっけにとられる)。 () ()
- ③ 火事でみんなが (ア 一糸みだれず イ 右往左往) する。 () ()
- ④ 友達の話には、にこやかに (ア あいづちを打つ イ あげ足をとる)。 () ()

(4) 線の言葉の使い方が正しいものには○、まちがっているものには×をつけなさい。

- ① このままでは一生うだつがあらがない。 () ()
- ② 山田さんはあまのじゃくな声を出す。 () ()
- ③ 君は何を聞いてもうわの空だね。 () ()
- ④ 一糸みだれず、けんかをする。 () ()
- ⑤ 君は人のあげ足をとってばかりいる。 () ()

(5) 次の言葉とよく似た意味を持つものをあとから選んで、記号で答えなさい。

- ① 案のじょう () () ② 右往左往 () ()
- ③ あまのじゃく () () ④ 雲での差 () ()

ア うろたえる イ 月とすつぽん
ウ やはり エ つむじまがり

(6) 「あまのじゃく」という言葉を使って、短文を作りなさい。(主語と述語を必ず入れること。)

国語の 力確認 テスト

1

物語 ①

1-3

言葉のきまりシート

3 言葉のきまり

(1) 線の形容詞の言葉の使い方が正しければ○をつけ、まちがっていれば正しく直しなさい。

- ① 風がすすしく、気持ちよい。 ()
- ② 美しく花がさいいた。 ()
- ③ あの山はたかいない。 ()
- ④ 一糸みだれず、美しいならぶ。 ()
- ⑤ かれはあおく顔をして、まったくのうわの空だった。 ()
- ⑥ みんなは赤いと言ったので、あまのじゃくなわたしはしろいと言った。 ()
- ⑦ ぼくの友人は、みんなやさしく人だ。 ()

(3) 文中から形容詞を一つずつ見つけて、言い切りの形にして答えなさい。

- ① 雨がげしくふっていた。 ()
- ② 風がたく、まるであらしのようだった。 ()
- ③ それでよかろう。 ()
- ④ 近ければ、歩いて行けるのに。 ()
- ⑤ 早朝の海は美しかった。 ()
- ⑥ ぼくは父にひどくしかられた。 ()
- ⑦ 遠くの町へ、君は引つこした。 ()

(2) あとに続く言葉に正しくつながるように、□にひらがなを一字ずつ入れなさい。

- ① かれは人のあげ足をとるけれど、本当はやさし□人です。 ()
- ② 話すのがあまりにも早□なので、あっけにとられてしまった。 ()
- ③ 案のじよう、うま□いった。 ()
- ④ 大きけ□ばいいと言うものでもない。 ()
- ⑤ ひとりぼっちで、さぞさびし□ろう。 ()
- ⑥ かれのあいづちは、おそ□ので、調子がくるう。 ()
- ⑦ 朝は早□、夜はおそいので、ね不足です。 ()

(4) 次の「 」の中から、言葉の種類や使い方がちがうものを見つけて、記号で答えなさい。

- ① ア おいしい イ 遠い ウ 近く
エ こわい オ 楽しい
- ② ア やさしい イ おそろしく
ウ はげしく エ 高く オ 低く
- ③ ア よかろう イ 正しかろう ウ うまかろう
エ さびしかろう オ 安い
- ④ ア 大きければ イ 小さければ
ウ はずかしければ エ おとなしく
オ やさしければ
- ⑤ ア 深さ イ 重さ ウ 軽さ
エ 明るく オ やさしさ

国語の 力確認 テスト

1

物語① 14 読解シート

4 読解

▼文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学一年になった千代は、一年前の夏会ったとき比べて、話しかけにくいほど大人っぽくなっていた。

①綾ちゃんも、いつか赤い実がはじけるわよ。

「そしたら教えてね、地しんみたいにとつ然来るんだから。」

そうやって千代は、まぶしいようなえがおをおうかべた。

その夜の千代との会話を、綾子はときどき思い出した。

「赤い実がはじけるって、どんな感じかしら。とつ然来るって、わたしにはいつかな——。」

想像すると、なんだかどきどきしてくる。

千代が言ったのは、本当だった。それは、まったくとつ然——。急に胸が苦しくなって——。パチン。

思わず飛び上がるほど大きな音を立てて、胸の中で何かがはじけたのだ。予想もしていなかった。だって、話していた相手が哲夫だったんだもの——。

「赤い実がはじけた」 名木田恵子

(1) 線①から、どのようなことが分かりますか。次から選んで、記号で答えなさい。

ア 千代は大人っぽいこと。

イ 千代は、すでに赤い実がはじけていること。

ウ 綾子の方が先に赤い実がはじけること。

(2) 線②に「まったくとつ然」とあるが、そのとき綾子は何をしていましたか。

(3) 線③の「パチン」は、何の音ですか。

▼文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「魚進」で買ったおさしみに、お父さんはとても満足したようだ。

①「今日のは、特にうまかった気がするよ。」

「そうでしょう。このアジのたたき、わたしの友達を作ったんだって。」

綾子は、自分の声が大きくなってのを感じた。

「そういえば、『魚進』のむすこさん、綾子と同じ級生だったわね。このごろ、もう一人前にお店を手伝っているのよ。」

お母さんがそう言ったので、綾子はなんだか、耳の辺りがかゆくなってきた。うれいような、はずかしいような——。それにしても、あのととき、急にかけだしたりして、哲夫は変に思わなかっただろうか。

「赤い実がはじけた」 名木田恵子

(4) 線①に「そうでしょう」とあるが、綾子はなぜ、こう言ったのですか。次から選んで、記号で答えなさい。

ア 自分が買ってきたのでほめてほしいから。

イ 自分が作ったことを自まんと思つたから。

ウ 友達を作ったことを自まんと思つたから。

(5) 線②に「声が大きくなっていて」とあるが、それは綾子のどんな様子を表していますか。次から選び、記号で答えなさい。

ア はらが立っている。

イ 興ふんしている。

ウ 耳が遠くなっている。

(6) 線③はだれのことですか。名前を答えなさい。

(7) 線④は綾子のどのような気持ちを表していますか。